

Rotary



国際ロータリー 第2660地区

2017-2018年度のための

地区研修・協議会



**ROTARY:
MAKING A
DIFFERENCE**

2017年4月15日(土)
大阪国際会議場

ガバナー

松本 進也

ガバナーエレクト

片山 勉

ホストクラブ

大阪東RC

2017-18年度のための

地区研修・協議会プログラム

2017年4月15日(土) 大阪国際会議場

2017-18年度 第2660地区ロータリークラブ/下記各委員長 合計 11名

出席義務者：会長・幹事・SAA・クラブ奉仕・職業奉仕・社会奉仕・青少年奉仕
国際奉仕・ロータリー財団・米山奨学・クラブ研修リーダー

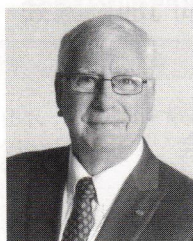
12:30	登録受付 (5階メインホール)
	第1部 本会議 (5階メインホール) 司会 岡村剛行
13:00	開会点鐘並びに開会挨拶 ガバナー 松本進也
	国歌斉唱、ロータリーソング「奉仕の理想」..... ソングリーダー 新井信彦
	パストガバナー、地区役員紹介 ガバナーエレクト 片山 勉
	歓迎の挨拶 ホストクラブ会長 西村貞一
	出席報告 ホストクラブ副会長 樋口武英
13:20	次年度RI会長テーマ及び地区方針 ガバナーエレクト 片山 勉
14:10	ガバナーノミニ紹介 ガバナーエレクト 片山 勉
	ガバナーノミニ挨拶 ガバナーノミニ 山本博史
	ガバナーノミニ・デジグネート紹介 ガバナーエレクト 片山 勉
	ガバナーノミニ・デジグネート挨拶 ガバナーノミニ・デジグネート 四宮孝郎
14:20	座談会「ロータリーはどこへ向かうのか」 パネリスト：ガバナー 松本進也 パネリスト：直前ガバナー 立野純三 パネリスト：ガバナーエレクト 片山 勉 パネリスト：ガバナーノミニ 山本博史 コーディネーター・司会：次年度地区代表幹事 塩谷眞治
15:10	2017-18年度地区大会の案内 地区大会 実行委員長 山本武男
	閉会挨拶 地区研修・協議会実行委員長 小中義博
15:15	閉会点鐘 ガバナー 松本進也
15:30	第2部 部門別協議会
17:00	終了

国際ロータリー 第2660地区
2017-18年度のための地区研修・協議会

部門別協議会 リーダー/サブリーダー

部 門	リーダー	サブリーダー
12階 特別会議場 会 長 部門	ガバナーエレクト 片山 勉 バスターガバナー 大谷 透	ガバナーノミニー 山本 博史 (大阪南) 次年度地区代表幹事 塩谷 眞治 (大阪東) 次年度地区財務委員長 沖中 隆志 (大阪東)
10階 1003号室 幹事・SAA 部門	バスターガバナー 高島 凱夫	ガバナーノミニー・デジグネート 四宮 孝郎 (大阪西南) 地区戦略計画委員会幹事 村橋 義晃 (大阪中之島) 次年度地区会計 西宮 宣之 (大阪東)
10階 1001号室 クラブ奉仕 部門	バスターガバナー 横山 守雄	次年度クラブ奉仕・拡大増強委員長 藤井 眞澄 (大阪南) 次年度広報・公共イメージ向上委員長 梅原 一樹 (大阪中之島) 研修委員 川上 善司 (大阪平野)
12階 1202号室 職業奉仕 部門	ガバナー 松本 進也	次年度職業奉仕委員長 北村 譲 (大阪中之島) 研修委員 木越 正司 (大阪西) 地区代表幹事 浜田 晋 (大阪北)
10階 1002号室 社会奉仕 部門	バスターガバナー 岩田 宙造	次年度社会奉仕委員長 望田 成彦 (摂津) ロータリー財団委員 暁 琢也 (大阪南)
10階 1009号室 青少年奉仕 部門	バスターガバナー 泉 博朗	次年度青少年活動委員長 斎藤 清貴 (大阪エバーグリーン) 次年度ローターアクト委員長 山本 博之 (大阪東) 次年度インターアクト委員長 小浦 芳生 (大阪) 次年度青少年交換委員長 横田 孝久 (東大阪) 研修委員 辻本 一義 (東大阪)
10階 1004・5号室 国際奉仕 部門	バスターガバナー 福家 宏	次年度国際奉仕委員長 前田要之助 (大阪東淀川) ロータリー財団補助金小委員会 委員長 今西 良介 (大阪南)
10階 1006・7号室 ロータリー財団 部門	直前ガバナー 立野 純三	ロータリー財団委員長 宮里 唯子 (茨木西) 次年度ポリオプラス小委員会委員長 廣田 亮彦 (大阪北梅田) 資金推進小委員会委員長 大谷 隆英 (大阪柏原) 次年度資金管理小委員会委員長 嘉納 逸人 (大阪) 次年度奨学金小委員会委員長 岩佐 嘉昭 (東大阪)
10階 1008号室 米山奨学 部門	バスターガバナー 若林 紀男	次年度米山奨学委員長 田中 隆弥 (池田くれは)
12階 グラントック クラブ研修リーダー 部門	バスターガバナー 岡部 泰鑑	研修委員 川崎 壽 (大阪中央) 研修委員 簡 仁一 (茨木) 研修委員 井川 孝三 (八尾) 研修委員 安井 一男 (新大阪) 次年度研修委員 池尻 誠 (八尾) 次年度研修委員 境 高彦 (大阪城南)

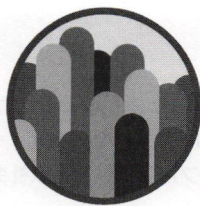
ロータリー： 変化をもたらす



2017-18年度 国際ロータリー会長
イアン H.S. ライズリー

数年前、知り合った人からある質問をされました：「ロータリーとは何ですか？」シンプルであるはずのこの質問に答えようと口を開きかけたところで、思わず止まってしまいました。どこから説明してよいか分からなかったのです。ロータリーとは何かを、私が知らなかったわけではありません。問題は、ロータリーがあまりに大きく、複雑すぎて、簡単に説明できないことでした。ロータリーとは、会員制の団体、クラブを基盤とした団体、奉仕を行う団体であり、町ごと、地域ごと、そして全世界で活動する団体です。その会員は、地域社会のメンバー、事業人、職業人であり、現役で仕事をする人もいれば、定年退職した人もいます。そして、世界のほぼすべての国で活動しています。120万人の会員一人ひとりが、独自の目標と優先を掲げ、一味違った経験をしています。一人ひとりが、ロータリーを独自の解釈で理解しているのです。

私にとってロータリーとは、「どのような団体か」ではなく、「何をしているか」で定義されます。すなわち、ロータリーが私たちに与えてくれる可能性、そして、その可能性を有意義かつ持続可能な奉仕によって実現する方法によって、定義されるのです。ロータリーには、112年の豊かな歴史があります。この間にロータリーは、徐々に成長し、成熟し、会員と地域社会の変わりゆくニーズに対応しながら、ある意味で大きく変わりました。しかし、その根底にあるものは同じです。それは、地域社会と世界に変化を生みだしたいという願い、そして、ロータリーを通じてそれを実現できるようになった人が集まった組織だということです。「ロータリーとは何ですか」という問いに、私たちは行動をもって答えます。奉仕を通じて変化をもたらすことによって。



ROTARY: MAKING A DIFFERENCE

組織として、私たちは、ロータリーとは何か、何をするのかを世界に理解してもらおうことが、いかに重要であるかを認識しています。同時に、各クラブがロータリー奉仕を独自に定義することが、かつてないほど重要であると自覚しています。ロータリアンである私たちは、これまでよりも柔軟に、クラブの例会、活動、発展の方法を決定でき、また、もっと多くの女性や多様な会員を迎え入れて、地域社会の特色をクラブに映し出すことに力を注いでいます。長期の計画、持続可能な奉仕、全レベルでのリーダーシップの継続性を重視することで、ロータリーが世界有数のボランティア組織であり続けるよう努力しています。

2017-18年度、「ロータリーとは何ですか」という問いに、私たちは「ロータリー：変化をもたらす」というテーマで答えます。それぞれどのような方法で奉仕することを選んだとしても、その理由は、奉仕を通じて人びとの人生に変化をもたらせると信じているからです。新しい遊び場や学校をつくる、医療や衛生設備を改善する、紛争仲裁者や助産師を研修するなど、私たちはその活動が、人数が多かろうが少なかろうが、誰かの人生をより良くしているのだと知っています。ロータリー入会のきっかけが何であれ、私たちがロータリーにとどまり続けるのは、ロータリーで充実感を得ることができるからです。この充実感は、毎週、毎年、「変化をもたらす」ロータリーの一員であることから湧き出てくるものなのです。

2017-18年度国際ロータリー会長
イアン H.S. ライズリー

会長賞

国際ロータリー 2017-18年度会長
イアン H.S. ライズリー

受賞資格

ロータリー戦略計画の3つ優先項目(クラブのサポートと強化、人道的奉仕の重点化と増加、ロータリーの公共イメージと認知度の向上)とかかわる目標を達成するクラブは、発展し、地域社会に変化をもたらします。

今年度の会長賞は、これらの優先項目を支える活動をしたクラブを表彰するものです。受賞基準となっている項目は、2017年7月1日～2018年6月30日の間に達成する必要があります。

多くの項目の達成状況は、RIデータベースを用いて国際ロータリーが自動的に確認できるものです。ただし、一部の項目については、国際ロータリーで達成状況を確認するために、クラブがロータリークラブ・セントラル、ロータリーショーケース、ロータリーアイデア応援サイトを通じて情報を入力する必要があります。

ガバナーの皆さまへ：

ガバナーも地区内クラブの活動状況をオンラインで確認できます。定期的にクラブと連絡を取り、会長賞への参加を通じて地域社会に「変化をもたらす」ために、クラブをご支援いただけますようご協力をお願いいたします。

詳細：www.rotary.org/ja/presidential-citation

お問い合わせ：riawards@rotary.org

必須活動

- 2017年7月と2018年1月のクラブ請求書の支払いを遅延なく行う。
- ボランティアに費やした時間と奉仕プロジェクトへの支援を、ロータリークラブ・セントラルで報告する。これにより、世界中でロータリーが与えた影響を測り、広報に活用できる。

クラブのサポートと強化

さまざまな考え方や経験をもつ会員がいれば、クラブに新鮮なアイデアがもたらされ、地域のニーズを幅広い角度から理解できます。クラブが地元や世界に変化をもたらすには、会員の積極的参加を促し、そのスキルと関心を生かし、会員の声をクラブの未来に反映させていくことが大切です。クラブの会員基盤を広げ、多様な会員を増やし、積極的な参加を促しましょう。



以下のうち少なくとも4項目を達成:

- ロータリークラブ・セントラルで少なくとも10の目標を設定する。
- クラブの戦略計画を更新または立案する。達成をロータリークラブ・セントラルで報告する。
- 会員数の純増:ロータリーの記録上、2017年7月1日と比べ、2018年7月1日時点で、会員数50名以下のクラブは少なくとも1名、会員数51名以上のクラブは少なくとも2名の会員純増を達成する。
- 女性会員の純増:会員数50名以下のクラブは少なくとも1名、会員数51名以上のクラブは少なくとも2名の純増を達成する。
- 40歳未満の会員の純増:(1977年7月1日より後に生まれ、2017年7月1日～2018年7月1日に入会した会員が対象)会員数50名以下のクラブは少なくとも1名、会員数51名以上のクラブは少なくとも2名の純増を達成する。
- 例会以外の活動に会員が参加する。ロータリークラブ・セントラルに、クラブの親睦活動を少なくとも1つ入力するか、50%を超える会員がクラブの奉仕活動に参加したことを記録する。
- 地域社会におけるロータリーの影響を広げるために、新しいロータリークラブまたはロータリー地域社会共同隊(RCC)を提唱(または共同提唱)する。RCCを提唱するには、ロータリー地域社会共同隊結成書式に記入し、RIに提出する必要がある。新しいロータリークラブを提唱する場合、新クラブが設立申請書を提出する際に提唱ロータリークラブ名がRIに報告される。
- 若い人のロータリーへの参加を促すため、インターアクトクラブまたはローターアクトクラブを提唱(または共同提唱)する。報告方法:インターアクト/ローターアクト提唱(共同提唱)書式を interact@rotary.org または rotaract@rotary.org に提出する。

人道的奉仕の重点化と増加

地元や海外での奉仕プロジェクトを通じて、クラブは世界的な人道的問題に取り組みます。これには、平和の推進、疾病との闘い、水と衛生、母子の健康、教育の支援、地元経済の発展、環境保護、ポリオ撲滅などが含まれます。

ロータリアン、若い世代、ロータリー学友、一般の人びとに、ロータリープログラムや重点分野の活動への参加、およびロータリー財団への寄付を呼びかけ、地元や世界に変化をもたらしましょう。

以下のうち少なくとも4項目を達成：

- ポリオ関連の募金活動またはアドボカシー（支援呼びかけ）イベントを開催する、または、そのようなイベントに会員が参加する（リソースは endpolio.org/ja から入手可能）。報告方法：ロータリーショーケースにイベントを掲載する（カテゴリーで「ポリオ撲滅」を選択）。
- グローバル補助金または地区補助金を利用したプロジェクトを少なくとも1件提唱する。補助金に関する詳細は www.rotary.org/ja/grants を参照のこと。
- 環境に焦点を当てたプロジェクトを少なくとも1件実施する。報告方法：実施したプロジェクトをロータリーショーケースに掲載する（「カテゴリーで「環境」を選択）。
- より大きな成果をもたらす、プロジェクトの幅を広げ、可視性を高めるために、地域内のほかのロータリークラブと協力する。ロータリークラブ・セントラルまたはロータリーショーケースでこのプロジェクトを報告する。
- 持続可能なプロジェクトにロータリーファミリーに参加してもらう。ローターアクター、インターアクター、ロータリー地域社会共同隊、ロータリー学友に、クラブのプロジェクトや行事に参加してもらう。ロータリークラブ・セントラルで報告する。
- ロータリーがさらに多くの奉仕を行っていけるよう、2016-17年度よりもロータリー財団へのクラブからの寄付を少なくとも10%増やす（日本円で計算）。ロータリークラブ・セントラルで報告する。
- ロータリー財団のいずれかの基金に25ドル以上を寄付する会員の数を増やす。
- 年次基金への会員一人あたりの平均寄付額が少なくとも100米ドルとなる。
- ロータリーのクラウドソーシングサイトである「アイデア応援サイト」を利用して、プロジェクトを支援するか、クラブの地元または海外でのプロジェクトへの支援を募る。

ロータリー公共イメージと認知度の向上

公共イメージが良くなれば、クラブと地域社会との関係も良くなり、入会への関心も高まります。



地元や世界に変化をもたらすクラブの活動について魅力あるストーリーを伝えることで、地域社会でクラブの公共イメージを良くし、ロータリーへの認知度を高めましょう。

以下のうち少なくとも4項目を達成：

- ロータリーのイメージを強化するために、クラブのあらゆるコミュニケーションに、ブランドのガイドライン、テンプレート、そのほかのリソースを使う(www.rotary.org/ja/brandcenterから入手可)。ロータリークラブ・セントラルで報告する。
- クラブのウェブサイトとソーシャルメディアアカウントを定期的に更新して、クラブの活動を紹介し、地元や世界でのロータリーの活動成果を伝える。ロータリークラブ・セントラルで報告する。
- 世界ポリオデーを支援するために、地元イベントを開催し、その周知を図る。イベントをendpolio.org/jaから登録する。
- 地元の職業人、市民団体、ロータリー学友のための(ネットワークづくりのための)交流会を少なくとも1回開くことで、地域社会の人びとの参加を促す。ロータリークラブ・セントラルで報告する。
- 1つまたは複数の企業、政府機関、あるいは非政府団体と提携し(または提携を継続し)、1つのプロジェクトで協力する。ロータリークラブ・セントラルで報告する。
- 地元地域で重要な問題を扱った地域フォーラムまたはセミナーを開催する。このフォーラム/セミナーでは、問題への解決策を見つけるために地元の人たちを集め、クラブの活動を紹介する。ロータリークラブ・セントラルで報告する。
- クラブのプロジェクトやイベント、または募金活動を地元メディアに報道してもらう。ロータリーショーケースまたはロータリークラブ・セントラルで報告する。
- 少なくとも1名のロータリー青少年交換学生を派遣または受け入れるか、少なくとも1名のRYLA参加者を支援することによって、平和を推進し、未来のリーダーを育成する。ロータリークラブ・セントラルで報告する。

次年度の方針

国際ロータリー第2660地区

2017-2018年度 ガバナー 片山 勉

(国際協議会 帰国報告(雑感))

去る1/15～1/20 サンディエゴで開催された国際協議会に出席しました。

私のようなアナログ人間には想像もできないスピードに驚き、テクノロジーの進化を実感すると共に、クラブや地区の運営、クラブ会長やガバナーがその責務を果たすには今後ますますITの進化への適応力が必須であることを痛感して帰って参りました。では早速、2017-18年度RI会長テーマ及び第2660地区次年度運営・活動方針を発表致します。

(次年度RI会長テーマ)

2017-18年度RI会長テーマは

“ROTARY: MAKING A DIFFERENCE -

ロータリー:変化をもたらす” であります。

ロータリーが地域、世界に変化をもたらす。

MAKING A DIFFERENCE を直訳すると「違いを作りつづける」となり、皆様もお気づきのことと思いますが、日本語訳と英語の解釈にとまどいを覚えながらスピーチを聞いていると、ロータリアン・ロータリークラブ・地域・地区・国の特性を活かして、積極的に奉仕活動に参加することが地域社会に変化をもたらし続けると述べておられます。

「ロータリーとは何ですか」という問いに「どのような団体か」ではなく「何をしているか」で定義されるという要約であります。地域社会の特性とニーズをクラブの奉仕活動に映し出すことに力を注ぎ、将来の計画・持続可能な奉仕・全レベルでのリーダーシップを継続して実行し、奉仕を通じて人々の人生や地域社会と世界に変化をもたらすと信じていると述べておられます。

(2017-18年度 第2660地区 ガバナー スローガン)

次年度RI会長テーマを受け、第2660地区2017-18年度ガバナーズローガンを“個性を活かし、参加しよう”と決めました。このスローガンは、ロータリーの基本理念と奉仕活動の充実・実践を表わしています。

(2017-18年度 第2660地区 具体的目標)

1. 基本理念と奉仕活動の実践
2. 戦略計画(将来構想)の推進
3. (財)ロータリー米山記念奨学会設立50周年
4. ポリオ撲滅
5. 公共イメージ向上

1. 基本理念と奉仕活動の実践

私達が考えるべきことはロータリーの「理念」と「奉仕活動」のバランスのとれた両立であり、どちらか一方に重心が移ってはロータリーの目的(綱領)・価値観・行動基準(4つのテスト)を守ることは不可能です。

また変えてはならないものと変える(進化)べきものを表わすものです。

ロータリーの創始者 ポール・ハリスの言葉

「ロータリーがしかるべき運命を切り開くには、常に進化し、
時には革命的にならなければなりません。」

ロータリーの奉仕の理念とは金看板と言われる親睦と職業奉仕にあり、信頼(信用)に裏づけられた職業分類による人脈(繋がり)による親睦であり、これがロータリアンの友の輪・友垣です。そして職業人としての高い倫理観・高潔性・寛容・リーダーシップがロータリーの目的です。



次に奉仕活動について述べます。

私達には個々に特性の異なる点があります。

例えばリーダーシップ・人材育成面では

- 若い世代 「人生が変わる」機会
- 中堅世代 自己啓発「気づく」機会
- シニア世代 伝える機会

また奉仕活動では、職業分類による違いに加え、例えば

- 若い世代 行動力、テクノロジー、情報力
 - 中堅世代 企画力、知識、熱意、多様性
 - シニア世代 経験、資金力、人脈、時間
- 等の優れた多様な特性があり、

全員がその特性に応じて奉仕活動に参加することができます。(全員参加)

クラブが、その会員がその特性を活かした奉仕活動に参加できます。

クラブが、地域の特性とニーズに応える奉仕活動を重点的に継続して下さい。

ポール・ハリス氏は職業分類について“違いを体感すること”と述べており、私達は異なる全分野の職業人を会員として多様性を受け入れる柔軟性・寛容を持っています。

次に奉仕活動の進化について

4年前から始まった「未来の夢計画—FVP」によって、クラブの人数が多い、少ないにかかわらず活動範囲の広い、大きな成果に継がる奉仕活動に進化してきています。

クラブも地区も社会奉仕活動の持続性や成果について考える必要があります。

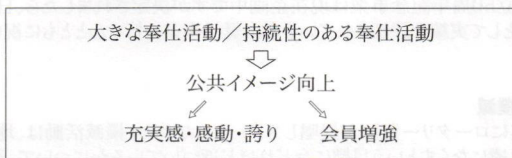
その為にはクラブが単独で行うだけではなく共通の価値観を持った人々・団体と共同で奉仕活動を行うことも考えるべきです。

- ・ロータリー学友・ローターアクター等の青少年、クラブ間、地区間、国際間の共同活動。
- ・ロータリーと共通の価値観を持つ他団体・行政機関、企業、個人との共同活動。

共通の中核的価値観は「地域社会・世界に良いことをしよう—

Service Above Self」です。

そして、持続性・継続性のある奉仕活動によって、大きな成果を地域・社会に見えるように公共イメージ向上に繋げてください。私達は社会の変化するニーズや課題を理解し、奉仕活動に参加して目標を達成することによって充実感・感動・誇りを得られます。そして会員増強にも繋がります。



2. 戦略計画(将来構想)の推進

2017-18年度第2660地区具体的目標としました

- 1. 基本理念と奉仕活動の実践
 - 2. 戦略計画(将来構想)の推進
 - 5. 公共イメージ向上
- は三位一体であり、戦略計画の目標そのものです。

ロータリーはどのように進化しているのでしょうか？

皆さんが入会時と入会后5年・10年経った頃のことを思い起こして下さい。